



PFAN

Accelerating Investment
for Climate and Clean Energy

プロジェクト案件募集要項

アジアにおける気候変動及びクリーン
エネルギーのプロジェクト開発・ファ
イナンスング・イニシアティブ

応募締め切り：2017年7月20日

1時 a.m. (日本時間)

スポンサー



Norwegian Ministry
of Foreign Affairs



主催

PFAN is hosted by the United Nations Industrial Development Organization (UNIDO) in collaboration with the Renewable Energy and Energy Efficiency Partnership (REEEP).

REEEP®



UNITED NATIONS
INDUSTRIAL DEVELOPMENT ORGANIZATION

連絡先

application@pfan.net

もくじ

1 はじめに	4
2 申請方法	6
3 選考基準	10
4 アドバイザー	11
5 プロジェクトの分類	11
6 パイプライン・コーチングプロセス	12
7 アジア・気候変動およびクリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム (AFCCEF) プロセス	12
8 投資促進	18
9 審査員	19
10 表彰	19
11 実施機関関係	20
別添 1 - 事業対象国リスト	25
別添 2 - 審査基準	26
第一次選考基準	26
第二次選考の審査基準	27
第二次選考の審査基準	28

1 はじめに

低炭素技術や気候変動防止技術の成長・発展への障壁となる主な原因として、ファイナンスへのアクセス、投融資可能なプロジェクトのパイプラインが限られていることが挙げられます。民間資金調達支援ネットワーク（**Private Financing Advisory Network : PFAN**）は、投資家と地球温暖化対策プロジェクトを提案する起業家の橋渡しをする役割を担っています。**PFAN** は気候変動ファイナンスにおいて、開発途上国と新興国の中小企業（**SME**）が直面する障壁、需要サイドにおいては投融資可能なプロジェクトの不足、供給サイドにおいてはリスク評価に係る能力不足や保守的な融資行動といった障壁の解決に取り組む数少ないプログラムの一つです。

PFAN はプロジェクトの特定と資金調達を民間セクターにおいて行なうべく、ビジネスプランの完成度・資金調達能力の審査、商業的実現性、および環境面、社会面において有益なプロジェクトの選定、プロジェクト開発と投融資促進における技術支援の提供、事業開発者と投融資家のキャパシティービルディング、**PFAN** ネットワークを通じたクリーンエネルギービジネスと金融機関とのマッチングを行います。また **PFAN** は関連規制や環境整備に関して、政策立案者へのフィードバックも提供しています。

本気候変動及びクリーンエネルギーのプロジェクト開発・ファイナンス・イニシアティブは、投資家へのアプローチに欠くことのできない必要書類であるビジネスプランを、経験豊富なプロのアドバイザーによって、財務面・社会面・環境面から磨きをかけ、実現可能なものにするためのコーチングサポートを提供いたします。

アドバイザーによるコーチングが完了したプロジェクトは、資金調達、フォローアップ・サポート、投融資実現の促進の観点から支援を受けることができます。成熟度の高いプロジェクトは、

2018年にシンガポールで実施予定のアジア・気候変動およびクリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラムにおいて、関連分野への投資に関心のある投資家の前でプレゼンをする機会を得られます。

PFANは、アフリカ、アジア、中南米地域において701メガワット（MW）のクリーンエネルギーを生み出す87件のプロジェクトの建設・設置・運用にかかる計12億ドルの資金調達を達成しました（2016年9月時点）。これらのプロジェクト（太陽光発電、風力発電、バイオマス・バイオガス発電、小水力発電、無電化地域におけるミニグリッドなどの分散型再生可能エネルギーなど）は、260万トン以上の年間CO₂排出量の削減に貢献しています。

PFANは世界のすべての地域の様々な国々で活動しています。現在はアジアとアフリカを中心に活動しており、また同時に中南米とカリブ地域に拡大し、近年その活動は、ウクライナ、ジョージア、ウズベキスタンへと広がっています。

2 申請方法

資格要件

アジア地域（別添 1 参照）においてクリーンエネルギー事業を実施している個人または法人。

事業の対象分野・技術

対象事業・プロジェクトは地球温暖化対策に資する技術や製品、サービスを提供するものとし、例として以下の分野が挙げられます。

クリーンエネルギー分野

- バイオマス
- バイオガス
- バイオ燃料
- 太陽光
- 風力
- 水力
- 潮力 / 波力（海洋発電）
- 森林からのエネルギー生成製品
- 農村電化・エネルギーアクセス
- 分散型・オフグリッド発電
- エネルギー貯蔵・保管
- エネルギー効率・需要削減
- 廃棄物からのエネルギー生成 / 回収
- 排出量削減
- クリーンな交通手段

事業規模

原則として、（初期）投資が 100 万米ドル以上、5,000 万米ドルまで（又は相当する他通貨額）の事業案件とします。

しかしながら、エネルギーアクセスや農村地の電化にかかるプロジェクト（例：環境に優しいコンロ、太陽熱システム、ミニグリッドなどのプロジェクト）、気候変動適応関連プロジェクトは、投資要求額が上記以下であっても認められます。

100 万米ドル未満の投資を複数回に分けて求める場合は、合計して 100 万米ドル以上となるものとします。

投資要求額は絶対的な選考基準ではありませんが、プロジェクトの投資対象としての魅力を判断する上で考慮されます。

事業内容

例として以下のような事業を募集しますが、これらに限定されません。

- グリーンフィールドやブラウンフィールドにおける公共事業や分散型発電プロジェクト
- パイロット段階の既存のプロジェクトで事業拡大の準備ができていないプロジェクト
- 無電化地域の電化、オフ・グリッドやミニ・グリッドプロジェクト、熱エネルギー、環境に優しい調理方法など、遠隔地域のエネルギーへのアクセスの向上につながるプロジェクト
- 既存技術の普及等の川下事業や、新たなクリーン技術の開発・商業化等の川上事業を含む、クリーンエネルギーや関連する技術に関するベンチャーの新規立ち上げあるいは事業拡大
- 既存のクリーンエネルギー事業に付加価値を与える合併、買収、ジョイントベンチャー

提案する事業は、助成金が不要又は最低限の助成金で商業的・技術的に実施可能なものでなければなりません。提案する事業については、3 節に記載の選定・審査基準を参考に構成してください。

機密情報と守秘義務

実施機関は参加者の事業コンセプト及びビジネスプランについてその機密性を尊重し、それらをコンペティションで使用する以外の目的で複製することはありません。審査員においても提出資料の守秘義務を認識し、同等の配慮が求められます。

参加チームにおいては、それが法的拘束力を有する合意ではないことを前提として、提出物の表紙に下記の免責条項を記載できます。

“This business plan is confidential and is presented solely for the purpose of evaluation in the PFAN Project Development and Financing Initiative for Climate & Clean Energy in Asia. This plan may not be reproduced or redistributed in whole or in part. By accepting a copy of this plan, the recipient agrees not to reproduce or disclose the contents of this plan to third parties without the prior written consent of its authors.”

「本ビジネスプランは機密書類であり、PFAN 気候変動およびクリーンエネルギーにかかるアジアでのプロジェクト開発及びファイナンスイニシアティブにおける評価目的のためにのみ提示される。本ビジネスプランの全体若しくは一部を複製、再配布してはならない。本ビジネスプランの受領者は、作成者の事前の書面による同意なく内容を複製又は第三者に開示しないことに合意する。」

当イニシアティブの参加予定者がアドバイザー、主催者及び/又は審査員に守秘義務契約への署名を求めた場合、主催者はこうした依頼について理解をしますが、慣例及び実用性の観点から、イニシアティブの一環として署名することはありません。

参加申込みと必要書類の提出

全ての提出物はオンライン上で手続きし、必要書類はすべて英語で作成してください。Eメールでの提出は認められません。

応募者は、下記 URL のページに必要情報を入力し、ユーザーアカウントを作成してください。応募者は作成したアカウント内でいつでも提出書類を作成することができますが、PFAN チームによる承認後でなければ、正式に提出することはできません。承認プロセスはユーザーアカウント作成後、2 営業日以内に完了いたします。ご質問がございましたら、次のメールアドレスにご連絡ください。 application@pfan.net

ユーザーアカウント作成:

https://climate-invest.fluxx.io/apply/pfan_registration

応募書類提出期限は、**2017 年 7 月 20 日 (木) 午前 1 時** (日本時間) までに下記のサイトよりログインし、全ての書類を提出してください。

<https://climate-invest.fluxx.io/>

また、事業提案書は**ワード形式**で提出してください。ただし表紙、本文、図表を含め **20 ページ**を超えないようご注意ください。またページ設定、間隔、文字サイズ、書体は自由ですが、読みやすさに心がけてください。事業提案書の補足説明資料(**Annex**)として、最大 **3 ファイル**まで提出することが可能です (例: **エクセル形式**のキャッシュフロー計算書)。補足説明資料は、文章、または図表で作成し、**10 ページ**を超えないようにしてください。データ容量は合計で **20MB** を超えないようお願い致します。

詳しくは、下記の事業提案書作成のためのガイドラインを参考にしてください。

http://cti-pfan.net/resource_document/guidelines-template-for-preparation-of-an-initial-project-proposal-english/

一次選考通過チームに対しては、**2017年8月10日（木）**までに通知いたします。通知直後から関係実施機関は、選考通過者に担当アドバイザーを割り当て、次段階に向けて準備に入ります。

注意事項: PFAN は、PFAN プロジェクト・パイプラインを運営する上で助成事業ポータルサイト「Climate-Invest」を使用しますが、PFAN は技術支援のみを行うのであって、助成金を提供することはありません。

3 選考基準

事業提案の選考

全ての事業提案は、その質と商業的・経済的成熟度、ならびに環境および社会的影響を計る一定の評価基準のもとに審査が行われます。最も評価の高い候補者が選ばれ、PFANプロジェクト開発パイプラインに導入され、ビジネスプランや投資提案の改善のためのサポートを受けることができます。第一次選考では、事業全体のポテンシャルや投資の得やすさなどが審査され、この段階では、投資家へアピールできる状態であるかなどの要因は重要視されません。第一次選考では事業提案書の完成度ではなく、事業の成功の可能性が重視されます。有能な経営陣による、技術的に実現可能で、ビジネスモデルが証明されていることを示す案件を特定することに重きが置かれます。

図表 1 第一次選考基準 (別添 2 参照)

No.	審査基準	配点
1	価値提案とビジネスモデル	15%
2	市場理解及び分析	15%
3	経営・運営チーム	20%
4	運営・実施計画	10%
5	財務	10%
6	リスク緩和戦略	10%
7	環境や開発に対する利点	10%
8	プロフェッショナル性とプレゼンテーション	5%
9	プロジェクトの成熟度	5%
	合計	100%

4 アドバイザー

一次選考通過プロジェクトについては、個別の必要性に応じてアドバイザーが割り当てられ、次のサービスが受けられます。

- I PFAN マネージメントと担当アドバイザー間で合意した期間／範囲において個別指導を行います。
- I 個別指導は、PFAN ネットワークに参画する産業エキスパート、コンサルタント、アドバイザーなどにより実施されます。担当するアドバイザーはクリーンエネルギー市場において国際的に豊富な経験を有しています。
- I 個別指導は電子メールや電話会議によって実施します。

5 プロジェクトの分類

一次審査を通過すると、参加者はパイプライン・コーチング・サポート、又はファイナンスング・フォーラム・プロセスへと割り振られます（詳細は次項参照）。

6 パイプライン・コーチングプロセス

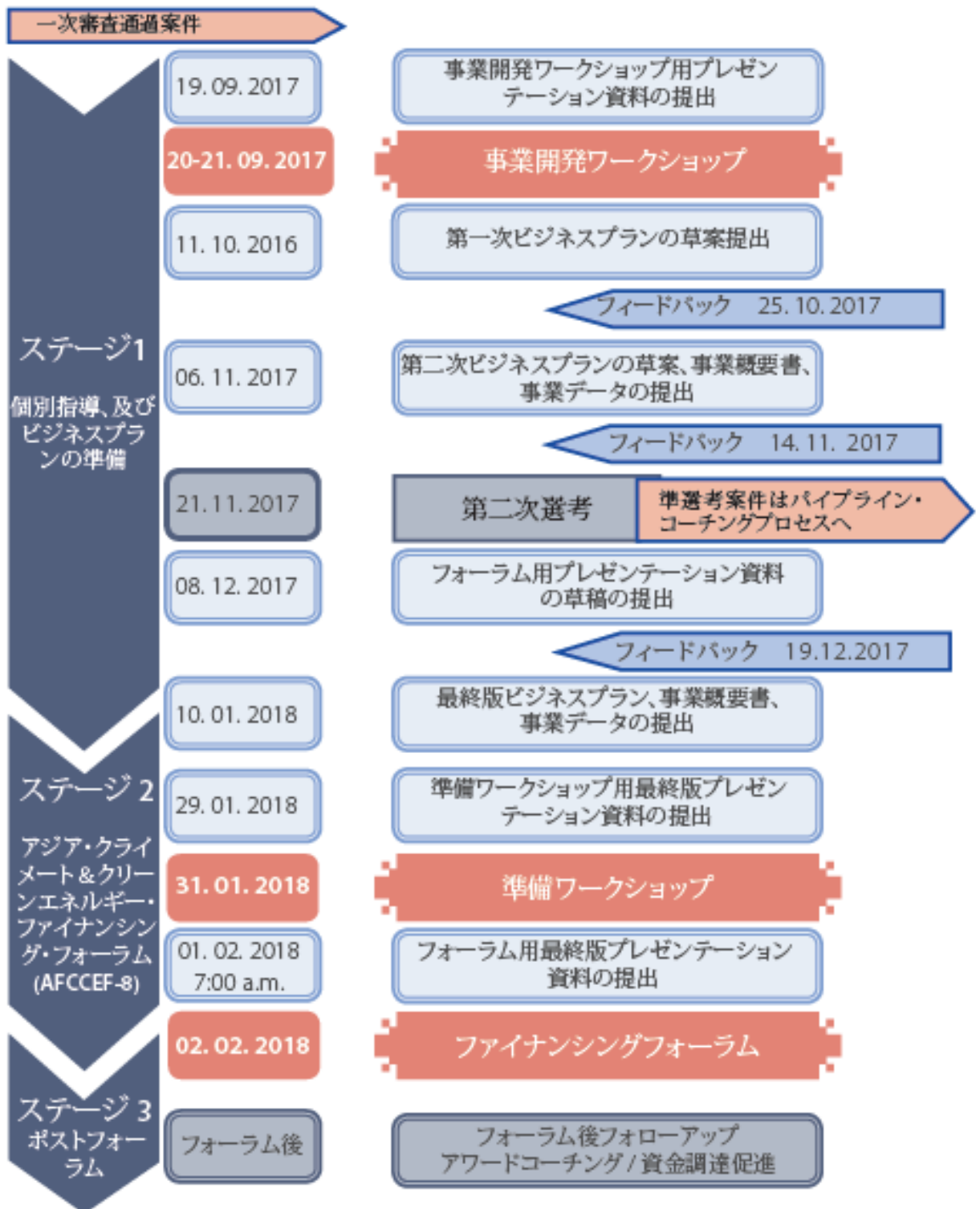
パイプライン・コーチングの過程に分類された参加者は、ビジネスプランを投資家へ提案する準備段階として担当アドバイザーによる個別指導を受けることができます。これらのサポートは無料で提供されます。PFAN のサポート業務の範囲は、個々のプロジェクト開発の具体的な要件についてプロジェクトチーム、担当アドバイザー、PFAN マネージメント間で協議し、合意のもと決定されます。パイプライン・コーチングプロセスの期間は、プロジェクトのタイプや成熟度によって異なり、通常は初期段階のプロジェクトを投資家へ紹介する場合、7 ヶ月から 18 ヶ月の期間を要します。

プロジェクトが投資家に紹介するまでに成熟したと認められた場合、PFAN から投資促進サービス（セクション 8 参照）を受けるか、または短期集中的なビジネスコンペティション形式のファイナンス・フォーラム過程（セクション 7 参照）へと進むことができます。プロジェクトがどちらのプロセスへ進むにかかわらず、コーチングサポートはそれぞれのプロジェクトの具体的な要件に合うよう調整され、全てのプロジェクトは適正な時期に投資を促進させるための機会が与えられます。

7 アジア・気候変動およびクリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム (AFCCEF) プロセス

ビジネスプランコンペティション形式である第 8 回アジア・気候変動およびクリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム (AFCCEF-8) プロセスに分類されたプロジェクトは、下記のプロセスを進みます。

図表1 AFCCEF-8の行程



ステージ 1：個別指導及びビジネスプラン開発

本段階では投資家に提示可能なビジネスプランを作成するために、PFAN の担当アドバイザーが一次選考通過チームに個別指導を実施します。個別指導は無償で最長 4 日間（32 時間）提供されます。2017 年 9 月 20 日（水）、21 日（木）にバンコクで開催される事業開発ワークショップでは、第一次選考を通過した全チームが専門的な指導と知見を享受できます。

一次選考通過チームは 2017 年 10 月 11 日（水）までに第一次ビジネスプラン草案を提出するものとします。

全てのチームが 2017 年 10 月 25 日（水）までに PFAN の担当アドバイザーより、提出された第一次ビジネスプランへのフィードバックを受けます。

2017 年 11 月 6 日（月）までに全てのチームは第二次ビジネスプラン草案、及び 2-3 ページ程度の事業概要を提出するものとします。

提出された第二次ビジネスプラン草案と PFAN の担当アドバイザーの推薦により、最終ステージであるファイナンス・フォーラムへと進む二次選考通過チームを最多 10 チームまで選考し 2017 年 11 月 21 日（火）に発表いたします。

二次選考通過チームは、シンガポールで開催される最終段階であるフォーラムで投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行います。

シンガポールで開催されるフォーラム用のプレゼンテーションスライドの草案は 2017 年 12 月 8 日（金）までに提出するものとします。このプレゼンテーションスライドに対するコーディネー

ターからのフィードバックは、各プロジェクト開発者に **2017年12月19日（火）** に提供されます。

最終版のビジネスプランおよび事業概要の提出期限は、**2018年1月10日（水）** です。これらの提出物は **2018年1月18日（木）** に審査員に送付されます。最終版のプレゼンテーションスライドは **2018年1月29日（月）** までに、提出する必要があります。

ステージ 2: 第 8 回 アジア・気候変動およびクリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム (AFCCEF-8)

2018年1月31日（水） から **2月2日（金）** にシンガポールで開催されるフォーラムの詳細スケジュールは、以下のとおりです。

2018年1月31日（水）～2月1日（木）：準備ワークショップ

初日にはワークショップが行われ、二次選考通過チームは PFAN の担当アドバイザーと投資促進の専門家による指導が得られます。二日目には、前日の準備ワークショップで担当アドバイザーや投資促進の専門家らから受けたアドバイスをもとにプレゼンテーションの最終仕上げを行います。また、**2日(金)**の本番を想定した模擬プレゼンテーションを行う機会も与えられます。

2018年2月2日（金）：ファイナンス・フォーラム

ファイナンス・フォーラムには関連分野に関心を持つ投資家が招待され、二次選考通過チームは投資家向けに **15分以内**のプレゼンテーションを行います。このプレゼンテーションは投資家並びに PFAN アジア・気候変動およびクリーンエネルギー・ファ

ファイナンス・アワード受賞者を選考する審査員向けに行われます。審査結果は同日夕刻に発表され、フォーラム後のレセプションにおいて表彰されます。

フォーラムに参加した全ての二次選考通過チームは、レセプションに招待され、チームメンバーと投資家間でのネットワーキングおよび意見交換をすることができます。

注記：実施関係機関は、事業開発ワークショップおよびフォーラムに参加するチームメンバー1名分の旅費（アジア地域内の発着限定）、宿泊費および参加費を負担します。

ステージ 3: フォーラム後のフォローアップ

ファイナンス・フォーラム終了後、アワード受賞チームはビジネスプランに更に磨きをかけ、投資家にとってより魅力的なものにするための追加個別指導を受けることができます。

また、PFAN やスポンサー、協力機関等が開催する他のイベントで紹介されることもあります。

注意：個別指導とビジネスプランの開発

第一次選考通過案件のマネジメントチームからの代表者1名は、タイのバンコクで開催される事業開発と資金調達能力向上を目的としたワークショップに参加し、無料のアドバイザーによる助言、指導のもとビジネスプランと投資計画を更に発展させます。

PFAN はクリーンエネルギー分野において経験豊富な専門家集団からアドバイザーを選出し、それぞれのプロジェクトに関連する技術やビジネスモデル考案の経験、実施国を考慮に入れアドバイザーを指定します。指導内容はフォーラムでの発表を想定し、各事業案件に求められる具体的要件に焦点をあて考案されます。

第二次選考は第一次選考の審査基準と同じ基準のもとで審査されます。しかし、下記の表にある基準、および担当アドバイザーが判断する個々のプロジェクトの成熟度が重要視されます。この審査では、ビジネスプランの批判的レビューおよび投資家と意味ある意見交換ができるようなプロジェクトの魅力と成熟度をもとにチームが評価されます。そのため、異なる配点となっています。

この段階で参加者は二次選考通過案件と準選考案件に振り分けられます。二次選考通過案件にはファイナンス・フォーラムでプレゼンテーションを行う権利が与えられ、引き続きコンペティションでの選考対象となります。

準選考案件はビジネスプランコンペティションからは外れますが、ビジネスプランの更なる発展に向け、パイプラインコーチングプロセスのもと、将来的にファイナンスフォーラムへ参加できるよう継続的に個別指導を受けることとなります。

図表 2 第二次選考の審査基準 (別添 2 参照)

No.	審査基準	配分
1	価値提案とビジネスモデル	10%
2	市場理解及び分析	10%
3	経営・運営チーム	10%
4	運営・実施計画	10%
5	財務	10%
6	リスク緩和戦略	10%
7	環境や開発に対する利点	5%
8	プロフェッショナル性とプレゼンテーション	10%
9	プロジェクトの成熟度	25%
	合計	100%

注意：フォーラムでのビジネスプラン発表

ファイナンス・フォーラムでは、最多 10 件の二次選考通過チームが投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行います。各々のプレゼンテーションの後、審査員による質疑応答が行われます。事前審査と準備のため、審査員にはフォーラムに先立ってビジネスプランのコピーが配布されます。審査員は以下の評価基準にもとづいて最も魅力的なプロジェクトを特定し、最終的に受賞者を決定します。

図表 3 ファイナンス・フォーラムにおける審査基準 (別添 2 を参照)

No.	審査基準	配分
1	価値提案とビジネスモデル	15%
2	市場理解及び分析	10%
3	経営・運営チーム	10%
4	運営・実施計画	10%
5	財務	15%
6	リスク緩和戦略	10%
7	環境や開発に対する利点	10%
8	プロフェッショナル性とプレゼンテーション	10%
9	プロジェクトの成熟度	10%
	計	100%

8 投資促進

アドバイザーや AFCCEF-8 選考委員会による推薦により、二次選考通過案件、準選考案件、及び PFAN の担当アドバイザーは、既にアドバイザーより提供された指導に加え集中型サポートを PFAN 投資促進チームより引き続き受けることができます。サポート内容は次のとおりです。

- I アドバイザーやプロジェクトに対して、投資促進と交渉のストラクチャリングサポートを提供します。
- I 投資家に対してより魅力的なアピールができるよう指導します。
- I 国際ネットワークと投資促進チームの情報網を駆使し、ターゲットを絞って投資家へ紹介します。
- I プロジェクト、アドバイザー、紹介された投資家間の投資交渉をサポートいたします。
- I デューデリジェンスや前提条件に関連するサポートを提供します。

9 審査員

審査員はアジア地域の事業環境に精通した投資家等によって構成されます。適格性と客観性確保のため、また利害の衝突を回避するため、審査員はビジネスプラン・コンペティション参加プロジェクトの選考終了後に指名、発表されます。

10 表彰

PFAN アジア・気候変動およびクリーン・エネルギー・ファイナンス・アワードは3節で述べた審査基準に基づいて、フォーラムにて審査員から最も前途有望と評価された3事業案件に授与されます。フォーラムに参加した全チームは、継続して投資家へのアプローチに関する支援を受けます。表彰された3案件については、最終段階に向けたビジネスプランの改善、投資家への紹介、または商談促進などの更なる集中個別指導が与えられ、またPFAN 又はスポンサーや協力機関が催すフォーラムやイベントにおいて優先的に紹介されます。

11 実施機関関係

共催機関の概要は以下のとおりです。

民間資金調達支援ネットワーク (PFAN)

PFAN プログラムは、国連工業開発機構 (UNIDO) が主体となり、REEEP の協力のもとに運営される、多国間におけるパートナーシップです。PFAN は投資家や金融機関と、企業家や事業開発者とを繋ぐために設立されました。PFAN は、民間投融資に相応しい初期段階のクリーンエネルギープロジェクトを発掘し、プロジェクトファイナンスの指導を施し、プロジェクトの融資可能性向上と資金調達達成にかかるコーチングとコンサルタントサービスを提供します。 <http://www.pfan-network.net>

国連工業開発機構 (UNIDO)

国連の専門機関のひとつで、貧困を減らす産業開発、包摂的で持続可能な産業開発を促進しています。PFAN は UNIDO が主催・運営しています。 <http://www.unido.org/>

Renewable Energy and Energy Efficiency Partnership (REEEP)

開発途上国におけるクリーンエネルギー市場を促進する準国際団体です。2002年のヨハネズブルグで開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議で設立されて以降、開発途上国において約200件のクリーンエネルギープロジェクトを実施し、類例のない経験を重ねてきました。REEEP は PFAN プログラムの共催・実施機関です。 <http://www.reeep.org/>

米国国際開発庁(United States Agency for International Development, USAID)

アメリカ合衆国のほぼすべての海外援助を行う政府組織で長期且つ公正な経済成長の促進を目指しています。持続可能なエネルギー・イニシアティブ、保健衛生、民主化、紛争解決、人道支援などに焦点をあてた経済成長、農業開発、貿易振興を援助の柱としています。USAIDはワシントンDCにある経済成長・教育・環境局（Bureau for Economic Growth, Education, and the Environment: E3）とタイ・バンコクに拠点を置くアジア地域開発ミッション（Regional Development Mission for Asia: RDMA）を通じてPFANを支援しています。RDMAはアジア地域におけるPFANのコーディネーターです。www.usaid.gov

米国国際開発庁（USAID）USAID）－民間資金調達支援ネットワークアジアプログラム（PFAN - Asia）

USAID民間資金調達ネットワークアジアプログラムは、クリーンエネルギー分野における投資を動員し拡大するため、アジアの発展途上国における企業、政府などの支援を行っています。

USAIDのプログラムは、そのアジアにおける地域開発任務を通して世界レベル及び地域レベルでPFANをサポートし、PFANアジアの地域の基盤を構築するための助成金を提供しています。

公益財団法人 国際環境技術移転センター（International Center for Environmental Technology Transfer, ICETT）

1990年に我が国の環境保全システムを円滑に移転していく機関として産・官・学の協力によって三重県四日市市に設立されました。環境関連技術及び環境保全策等を開発途上国に移転すること

を目的とします。そのために、研修・技術指導、調査・研究、交流・連携、情報提供・普及啓発などの取り組みを行っています。

www.icett.or.jp/english

アジア開発銀行（ADB）－ Energy for All (E4A)プログラム

アジア太平洋地域の拡大するエネルギー不足への対策として立ち上げられた E4A プログラムは、2015 年までに近代エネルギーを 10 億人へと提供しています。これらは、ADB 稼働地域でのエネルギーアクセスの主流化、それ以外のアジア太平洋地域の民間投融资の促進によるエネルギーアクセス関連企業の横展開・拡大を 2 本柱としています。

<http://www.adb.org/sectors/energy/programs/energy-for-all-initiative>; www.energyforall.info

シンガポール持続可能エネルギー協会（Sustainable Energy Association of Singapore, SEAS）

再生可能エネルギー、エネルギー効率及び炭素開発・取引事業に取り組む企業や金融機関が協力して、有益なプロジェクトを共に実施していくための利害を代表し、共通の基盤を提供しています。本協会は業務の中心を、能力構築、技術強化、市況情報まで広げ、企業と市場の発展及び学習・訓練基盤を介して、メンバーが当該地域で持続可能な成長を実現する手助けをしています。SEASは、製品とソリューションの開発・輸出をするグローバル・クリーン・エネルギー拠点になるというシンガポールのビジョンの実現化の支援において、戦略的な役割を担っています。また、SEASはメンバーのプロジェクト実施を可能にするために地域のクリーン・エネルギー業界団体、多国籍企業、若しくは主要

政府機関と戦略的な協力関係を構築しています。

www.seas.org.sg

Full Advantage Co., Ltd.

エネルギーや環境分野におけるプロジェクト開発・コンサルティング会社です。よりクリーンで手頃なエネルギーを生成・節約し、より豊かで持続可能な環境に配慮しながら、パートナーやクライアントが未開発資源や独創的なプロセス、適切な技術ソリューションを利用する支援をしています。

www.full-advantage.com

Dawn Consulting

独立系の企業財務コンサルティング専門会社で、ベンチャーキャピタル、プライベートエクイティ、プロジェクト資金調達、運転資金調達、海外直接投資、対外商業借入(ECB)、デューデリジェンス、トランザクションストラクチャリング、指導・育成及び企業戦略コンサルティングを対象としています。同社は、過去 17 年間にわたり、製造、エンジニアリング、不動産、ファイナンシャルサービス、インフラ、鉱業、及び IT、宿泊飲食業などのサービス業等、様々な産業においてインド全土および海外の企業にサービスを提供しています。 www.consultdawn.com

CSi Energy Solutions International (CSi)

市場分析・事業開発・財務のまとめ・資金調達の円滑化に特化したコンサルティング会社で、これまでにフィリピン、インドネシア、インド、タイ、その他のアジア諸国で再生可能エネルギー・エネルギー効率・クリーン輸送・その他環境分野に関連するプロジェクトを実施しました。また、CSi はフィリピンの PFAN カントリー・コーディネーターです。 www.cleanenergy.com.ph

PPL International

PFANのグローバル・コーディネーターであり、発展途上国でのクリーン/再生可能エネルギープロジェクトに特化した資金調達に関するアドバイザーです。アフリカ、アジア、独立国家共同体（CIS）及び東欧で活動しています。 www.ppl-int.com

別添 1 – 事業対象国リスト

- バングラディッシュ
- ブータン
- カンボジア
- インド
- インドネシア
- ラオス
- マレーシア
- モルディブ
- モンゴル
- ミャンマー
- ネパール
- パキスタン
- フィリピン
- スリランカ
- タイ
- 東ティモール
- ベトナム

別添 2 – 審査基準

第一次選考基準

No.	審査基準	配点
1	価値提案とビジネスモデル： <ul style="list-style-type: none"> - ビジネスプランの主目的、事業の合理性の明確化 - 投資提案の明確化 - 商業的実現性と収益性 - ビジネス/プロジェクトモデルの明確化 - 投資家にとっての魅力 - ビジネスモデルは拡張性および更なる拡張の可能性 - 競争上の優位性の明確化 	15%
2	市場理解及び分析： <ul style="list-style-type: none"> - 主要な顧客は特定 - 競合企業と将来的な代替品の市場への参入 - 市場規模、市場動向、障害や見通しに関する分析と知識 - 競争戦略や事業の強み、弱み分析 	15%
3	経営・運営チーム： <ul style="list-style-type: none"> - 関連した経験や実績 - チームに事業化を進める能力 - 運営能力の潜在的な不足への対処 	20%
4	運営・実施計画： <ul style="list-style-type: none"> - 実施目標と達成方法の分析 - インプットから最終的な製品およびサービス提供までに必要な活動についての分析 	10%
5	財務： <ul style="list-style-type: none"> - 資本支出、収益、経費の概観 - 仮定に対する説明 - 資金調達構造案 - 財務見通しと感度分析 - 出口戦略 - 財務予測とビジネスプラン草案に記された予測との整合性 - 資金要件、潜在的な資金源と投資対象としてのファンドへの訴求力 	10%
6	リスク緩和戦略： <ul style="list-style-type: none"> - 主要なリスクと適切な緩和策 	10%
7	環境や開発に対する利点： <ul style="list-style-type: none"> - 温室効果ガス（GHG）排出削減 - その他の環境面、開発面における利点（雇用機会創出、健康促進、等） 	10%
8	プロフェッショナル性とプレゼンテーション： <ul style="list-style-type: none"> - 文書の構成と体裁 - 読みやすさ、理解しやすさ 	5%
9	プロジェクトの成熟度： <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト/ビジネスの成熟度 - 実施までに要する期間 - 投資対象としての完成度 	5%
	計	100%

第二次選考の審査基準

No.	審査基準	配点
1	価値提案とビジネスモデル： <ul style="list-style-type: none"> - ビジネスプランの主目的、事業の合理性の明確化 - 投資提案の明確化 - 商業的実現性と収益性 - ビジネス/プロジェクトモデルの明確化 - 投資家にとっての魅力 - ビジネスモデルは拡張性および更なる拡張の可能性 - 競争上の優位性の明確化 	10%
2	市場理解及び分析： <ul style="list-style-type: none"> - 主要な顧客は特定 - 競合企業と将来的な代替品の市場への参入 - 市場規模、市場動向、障害や見通しに関する分析と知識 - 競争戦略や事業の強み、弱み分析 	10%
3	経営・運営チーム： <ul style="list-style-type: none"> - 関連した経験や実績 - チームに事業化を進める能力 - 運営能力の潜在的な不足への対処 	10%
4	運営・実施計画： <ul style="list-style-type: none"> - 実施目標と達成方法の分析 - インプットから最終的な製品およびサービス提供までに必要な活動についての分析 	10%
5	財務： <ul style="list-style-type: none"> - 資本支出、収益、経費の概観 - 仮定に対する説明 - 資金調達構造案 - 財務見通しと感度分析 - 出口戦略 - 財務予測とビジネスプラン草案に記された予測との整合性 - 資金要件、潜在的な資金源と投資対象としてのファンドへの訴求力 	10%
6	リスク緩和戦略： <ul style="list-style-type: none"> - 主要なリスクと適切な緩和策 	10%
7	環境や開発に対する利点： <ul style="list-style-type: none"> - 温室効果ガス（GHG）排出削減 - その他の環境面、開発面における利点（雇用機会創出、健康促進、等） 	05%
8	プロフェッショナル性とプレゼンテーション： <ul style="list-style-type: none"> - 文書の構成と体裁 - 読みやすさ、理解しやすさ 	10%
9	プロジェクトの成熟度： <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト/ビジネスの成熟度 - 実施までに要する期間 - 投資対象としての完成度 	25%
	計	100%

第二次選考の審査基準

No.	審査基準	配点
1	価値提案とビジネスモデル： <ul style="list-style-type: none"> - ビジネスプランの主目的、事業の合理性の明確化 - 投資提案の明確化 - 商業的実現性と収益性 - ビジネス/プロジェクトモデルの明確化 - 投資家にとっての魅力 - ビジネスモデルは拡張性および更なる拡張の可能性 - 競争上の優位性の明確化 	15%
2	市場理解及び分析： <ul style="list-style-type: none"> - 主要な顧客は特定 - 競合企業と将来的な代替品の市場への参入 - 市場規模、市場動向、障害や見通しに関する分析と知識 - 競争戦略や事業の強み、弱み分析 	10%
3	経営・運営チーム： <ul style="list-style-type: none"> - 関連した経験や実績 - チームに事業化を進める能力 - 運営能力の潜在的な不足への対処 	10%
4	運営・実施計画： <ul style="list-style-type: none"> - 実施目標と達成方法の分析 - インプットから最終的な製品およびサービス提供までに必要な活動についての分析 	10%
5	財務： <ul style="list-style-type: none"> - 資本支出、収益、経費の概観 - 仮定に対する説明 - 資金調達構造案 - 財務見通しと感度分析 - 出口戦略 - 財務予測とビジネスプラン草案に記された予測との整合性 - 資金要件、潜在的な資金源と投資対象としてのファンドへの訴求力 	15%
6	リスク緩和戦略： <ul style="list-style-type: none"> - 主要なリスクと適切な緩和策 	10%
7	環境や開発に対する利点： <ul style="list-style-type: none"> - 温室効果ガス（GHG）排出削減 - その他の環境面、開発面における利点（雇用機会創出、健康促進、等） 	10%
8	プロフェッショナル性とプレゼンテーション： <ul style="list-style-type: none"> - 文書の構成と体裁 - 読みやすさ、理解しやすさ 	10%
9	プロジェクトの成熟度： <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト/ビジネスの成熟度 - 実施までに要する期間 - 投資対象としての完成度 	10%
	計	100%